

## 第4学年 体育科学習指導案

日 時：令和3年2月1日

場 所：体育館

対 象：4年1組 35名

授業者：今井 茂樹

### 1. 単元名 『テニピン』

### 2. 単元の目標

- ラリーをつなげたり、ねらったところにコントロールしたりするコツを理解し、実践しながらゲームをすることができる。(知識・技能)
- ルールを工夫しながら自分たちにあったゲーム作りをしたり、自分の動きや相手の動きを考えた作戦を工夫したりしたことを、身体や言語で表現することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ルールを守り、他者と対話しながら協働的に学び合うことができる。(学びに向かう力・人間性等)

### 3. 単元設定の理由

#### (1) 児童の実態について

本学級の児童は、運動好きな子が多く、休み時間においてもドッジボールやサッカー、鉄棒、縄跳びなど様々な運動に興じている。これまで、ボールゲームの学習は、タグラグビーとハンドボールを経験している。他者と対話しながら学び合い、チームや個々の力が高まることの良さを実感してきた。

テニピンについては授業者のこれまでの実践を知っている子が多く、興味関心が高い。魅力的な教材の提示は運動の面白さを味わう上で必要不可欠である。児童の興味関心が一層高まる「テニピン」を児童と共に創り上げていきたい。

#### (2) 運動の面白さ

運動固有の面白さを味わうことができれば、子供たちは必然的に学びを深めていくことができる。換言すれば、「主体的・対話的で深い学び」は、運動の真の面白さを味わう過程で生まれる学びと言えるのではないだろうか。本実践では、新学習指導要領の例示にも取り上げられ、注目されているテニス型の授業実践における「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びかについても考えたい。

#### (3) 指導の手立て

テニピンの特性における特筆すべき点は「個が輝ける」ということである。全員が1得点の中で必ずボールに触れることができ、得点できる可能性をもっている。このようなゲームだからこそ、運動に主体的にかかわり、学習課題に自分ごととして向き合い、運動の面白さを追究したくなるのではないだろうか。テニピンの面白さを全員が味わえるように以下の手立てを講じる。

- 全員が活躍でき、運動量が保障できる魅力的な教材の提示及びルールの工夫
  - ・「やってみよう」とワクワクするような教材・ルールを提示し、さらに楽しめるルールをクラスみんなで創り上げていく。
- 今もっている力から始め、工夫した力で楽しめる指導計画の工夫
  - ・ラリーをつなげる面白さからラリーを断ち切る面白さへ少しずつシフトしていく。
- 個人やチームの必要感に応じた課題別ゲームの提示やめあてのめあての工夫
  - ・子供たちが何を面白がっているのかを教師が児童目線で把握し、課題別ゲームを提示し、個々が適切なめあてをもてるようにする。
- 振り返りによる学びの拡張
  - ・児童と教師の面白さの考え方・捉え方を毎時間修正し、児童の立場からの課題提示や振り返りの視点の明確化を図る。

**5. 学習指導計画（全8時間）**

**第1次：**オリエンテーション・ラリーをつなげることを楽しむゲームを行う。…… 3時間

**第2次：**個人の課題やチームの作戦を意識し、リーグ戦を行う。……5時間（**本時3／5時**）

**6. 本時の学習指導（6／8時）**

**（1）本時のねらい**

- ・素早く打点に入りラリーを続けたり、ねらったところにボールをコントロールしてラリーを断ち切ったりすることができる。
- ・個やチームの課題を明確にもち、練習を選んだり、作戦を立てたりすることができる。

**（2）本時の展開**

主な学習活動（・予想される児童の活動）	○留意点 ☆テーマとの関連 ※評価
<p>1. チームごと学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場や用具の準備</li> <li>・準備運動</li> </ul> <p>2. 本時の学習の流れ、ポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦や技能について</li> <li>・付け加えられたルールの確認</li> </ul>	<p>○学習の見通しがもてるように、学習の流れ、対戦相手、コートを掲示資料で確認する。</p> <p>○準備運動を行い、十分に体をほぐすようにする。</p> <p>☆前時の振り返りを紹介し、本時の学習課題を確認する。（運動の面白さの捉え直し）</p>
<p>どうしたら得点を取れるか状況判断して、ボールを打ち返そう。</p>	
<p>3. 個のめあてに応じた練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらったところに打ち返す練習をする</li> <li>・スペースを意識した練習をする</li> <li>・つなげる練習をする</li> </ul> <p>4. チームで作戦に応じた練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能を高める練習をする</li> <li>・作戦を意識した練習をする</li> <li>・ゲームをする</li> </ul> <p>5. リーグ戦をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コートは5面用意する</li> <li>・ゲームはダブルス（2対2）</li> <li>・ゲーム1（前後半3分）ーチームの時間（3分）ーゲーム2（前後半3分）</li> <li>・審判はセルフジャッジ</li> </ul> <p>6. ゲームを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで振り返る</li> <li>・全体で振り返る（作戦・よい動き）</li> <li>・個で振り返る</li> <li>・片付け</li> </ul>	<p>☆個々の必要感に応じた練習を行い、用具を操作する力や空間認識力を身につけさせる。</p> <p>※自分の課題を明確にもち、課題を意識した練習を選択し実行している。</p> <p>☆作戦を意識した練習ができるように動きの例を挙げ、作戦が実現する喜びを味わわせる。</p> <p>※攻める時、守る時の動き方や打ち方を考え、実行しようとしている。</p> <p>○作戦を意識してゲームができるように表情や動きなどを観察しながら、個に応じた声かけをする。</p> <p>☆よい動きは積極的に賞賛して、本人も周りの子も認識できるように声をかける。</p> <p>※自分たちが考えた作戦や身につけた技能がゲームの中で活かされている。</p> <p>☆振り返りは、テニピンの面白さに関する「友達の動きを見て真似してみたいと思ったこと、自分やチームのよい動きや次に活かしたいこと」に絞って話し合う。</p> <p>（振り返りによる学びの拡張）</p> <p>※テニピン面白さの具体を捉え直し、次時のめあてづくりに活かしている。</p>